

1. 都市を取り巻く社会状況

- 少子高齢化と人口減少
- 都市化の進展と国民の環境問題等への関心の高まり
- 地方の活性化、大都市のグローバル化
- 都市インフラストックの拡大
- 財政面、人員面の制約の深刻化
- 価値観の多様化・企業の社会貢献を促す制度等の充実

2. 緑とオープンスペースの状況

- 都市公園ストックの一定の蓄積（10万箇所、12万ha）
- 老朽化施設等の計画的かつ適切な維持管理
- 財政制約が深刻化する中での戦略的なストックマネジメント 等

3. 今後の都市の方向性

- 集約型都市構造化、都市と緑・農の共生が実現された都市
- 大規模地震等の災害に対してレジリエントな都市
- グローバルな都市、高齢者が住みやすく、子供が生まれる都市 等

4. 新たな時代の都市をつくる緑とオープンスペースの基本的考え方

緑とオープンスペースの政策は『新たなステージ』へ移行すべき

社会が成熟化し、市民の価値観も多様化する中、都市基盤も一定程度蓄積されたステージにおいて、緑とオープンスペースは、市民のクオリティ・オブ・ライフの向上、地域コミュニティの強化、持続可能で魅力あふれる高質都市の形成に向け、持てるポテンシャルを最大限に発揮すべき

新たなステージで重視すべき観点

1 ストック効果をより高める

2 民間との連携を加速する

3 都市公園を一層柔軟に使いこなす

基本的考え方 (1)

新たな時代の都市を支える 緑とオープンスペースの戦略的な確保・活用

集約型都市構造化を好機と捉え、より魅力的な都市を再構築するための都市戦略として緑とオープンスペースの戦略的な確保、活用を推進

①都市の再構築に向けた緑とオープンスペースの活用・再編

- 緑とオープンスペースの観点からの集約型都市構造化の将来像の提示
- 都市機能の向上に着目した都市公園ストックの再編

②柔軟な官民連携による緑とオープンスペースの確保

- 民間の広場空間を含めた都市の緑とオープンスペースの総合的な確保・活用による高質な都市空間の創出

基本的考え方 (2)

まちの個性、市民の力を引き出すための都市公園の多機能性の発揮

高い自由度と多機能性を有する都市公園の特性を最大限発揮し、まちの個性や活力、市民の力を引き出す

①都市の特性等に応じた都市公園の多機能性の発揮

- まちに開かれ、市民に愛される都市公園として多様な機能の発揮を推進
- 都市公園の特性や地域のニーズに応じた、関係者の合意等に基づく弾力的な運用

②都市公園の特性等に応じた多様な運営主体の参画

- 多様な管理運営主体の参画を推進するための制度、メニューの充実等による都市公園のポテンシャルの一層の発揮、効率的な管理の推進

基本的考え方 (3)

幅広い主体との協働により質を向上させていく仕組みの構築

市民意見の反映、公園の質の評価等、システムとして質を維持・向上させていく仕組みを構築する

①市民意見を反映する評議会、協議会の設置

- 都市全体の緑とオープンスペースの方針等を審議する評議会、個別の都市公園毎のマネジメント計画等を協議する協議会などの設置の促進

②質の向上を支えるための制度の充実

- 都市公園や広場等の管理の質を評価し、見える化する仕組みの構築
- 行政職員の継続的な育成、民間等の専門的能力を有する者(団体)の活用